令和４年度

清水町社会福祉協議会事業報告書

社会福祉法人　清水町社会福祉協議会

令和４年度　清水町社会福祉協議会事業報告

近年の私たちを取り巻く社会環境は、技術の進歩により生活の利便性が向上する一方、少子高齢化、単身高齢者の増加、ライフスタイルの多様化と生活様式が変化し、社会環境の変化による家庭や地域の連帯感の希薄化が、児童虐待や引きこもり問題、認知症高齢者、生活困窮者の増加に影響していると思われます。

加えて、長引くコロナ禍やロシアのウクライナ侵攻による経済の低迷、国際社会の緊張、物価の高騰など、日常生活は厳しさを増しております。

令和４年度の清水町社会福祉協議会は、地域福祉活動においては、市民後見人・生活支援サポーター・災害ボランティアコーディネーターの養成、生活困窮者に係る生活福祉資金償還に関する相談支援、シニア世代のパソコン教室等高齢者の居場所づくりの推進など新規事業に対し、積極的に取り組むと共に、平成 30 年度から推進してきた第５次清水町社協地域福祉活動計画が最終年度であったことから、平成 30 年度から令和４年度までの５年間の事業を振り返り、評価検証を行ったうえで、新たに第６次清水町社協地域福祉活動計画を策定しました。

また、福祉センター会館管理事業、地域包括支援センター事業、放課後児童健全育成事業ほか、町からの受託業務及び就労継続支援Ｂ型事業の経営事業においても円滑な運営を行い、住民の社会福祉の増進とサービスの向上に努めました。

なお、居宅介護支援事業所及びホームヘルプサービス事業所については、令和４年度をもって廃止しました。

第１　法人本部

１　法人運営事業

⑴　理事会・評議員会の開催

理事会	第１回	令和４年５月 30 日	
	第２回	９月 22 日	
	第３回	12 月 19 日	
	第４回	令和５年３月 20 日	
評議員会	第１回	令和４年６月 16 日	［定時評議員会］
	第２回	10 月５日	
	第３回	令和５年１月 13 日	
	第４回	３月 30 日	

⑵ 社会福祉協議会の会費

社会福祉協議会の財源は、町民の方々に会員になっていただく一般会費、法人会費、町補助金、町受託金並びに共同募金からの助成金及び善意の寄付金などで事業運営を図っている。

社協会費については、６～８月にかけて区長会の協力により、一般世帯からの会費（一般会費）を徴収した。

なお、法人会費については、新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、経済の停滞を受け、町内の企業・事業所においても経営環境に変化が生じたことを鑑み、徴収は見送ることとし、一部事業所にご協力いただいた。

一般会費	3,497,420 円
法人会費	24,000 円
計	3,521,420 円

⑶ 募金運動・赤十字運動

ア）赤い羽根の共同募金運動

10 月１日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が実施された。清水町においては、区長会の協力を得て、一般世帯からの一般募金と街頭募金を町内４か所で実施した。

なお、法人募金については、例年民生委員児童委員の協力で募金運動を展開していたが、新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、経済の停滞を受け、町内の企業・事業所においても経営環境に変化が生じたことを鑑み、静岡県共同募金会口座への振込案内を実施した。

一般募金	2,941,450 円
街頭募金	19,119 円
その他の募金	30,930 円
静岡県共同募金会口座への振込	22,171 円
計	3,013,670 円

街頭募金については、新型コロナウイルス感染症の予防対策の観点から、活動時間を縮小して実施した。

開催日　　令和４年 10 月３日

会　場　　・大東紡エステート㈱　サントムーン柿田川
・エンチョー㈱　ホームアシスト
・マックスバリュエクスプレス清水町徳倉店
・エスポット駿東店

イ）歳末たすけあい運動

共同募金運動の一環として、12 月１日から同月末日までの期間に、区長会等の協力により実施され、各方面より格別なる協力を得て多額の援護金が寄せられた。

寄せられた浄財は、歳末援護金を必要とする世帯へ共同募金会の助成決定に従い、厳正に配分した。

歳末たすけあい募金（一般募金）	1,867,630 円
その他募金	80,000 円
計	1,947,630 円

ウ）日赤会費の募集

日本赤十字社清水町分区事業の事務を受け持つ社会福祉協議会では、赤十字の“人道・博愛”の理念と思想に基づき、日赤会費を募集し、赤十字活動の普及・推進に協力した。

日赤会費については、６～８月にかけて区長会の協力により、一般世帯からの日赤会費（一般会費）を徴収した。

日赤法人会費については、新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、経済の停滞を受け、町内の企業・事業所においても経営環境に変化が生じたことを鑑み、会費の徴収は見送ることとし、一部事業所にご協力いただいた。

日赤一般会費	4,519,100 円
法人会費他	61,000 円
計	4,580,100 円

⑷ 生活福祉資金の貸付（県社協受託事業）

生活困窮者に対し、経済的な自立を目的とした生活資金や就学資金等の貸付及び償還指導業務を実施した。

県社協生活福祉資金申込み承認状況（令和４年４月～令和５年３月まで）

貸付資金名		貸付件数	貸付額合計
福祉資金	緊急小口資金	5	401,000 円
	福祉用具購入費	－	0 円
総合支援資金	生活支援費	－	0 円
	住居入居費	－	0 円
教育支援資金	就学支度費	－	0 円
	教育支援費	－	0 円
臨時特例つなぎ資金		－	0 円
合　計		5	401,000 円
不動産担保型生活資金		1	

≪新型コロナウイルス感染症拡大に伴う特例貸付≫

新型コロナウイルス感染症の影響で、休業や失業等により、生活費等で困窮している方に対し、生活福祉資金の貸付相談を行った。

県社協受付特例生活福祉資金貸付状況（令和４年４月～令和４年９月まで）

貸付区分	貸付申請受付件数	申請額
緊急小口資金	23 件	4,300,000 円
総合支援資金	19 件	10,200,000 円

⑸ 区長会・民生委員児童委員協議会との連携

区長会・民生委員児童委員協議会との協力関係を確立し、協力依頼、情報交換、情報提供等を行った。

⑹ 苦情受付

社協内の部署ごとに苦情受付担当者、苦情解決責任者を配置し、苦情解決に努めているが、令和４年度の苦情受付件数は、法人全体で３件であった。

なお、苦情申出人が匿名以外の苦情解決にあたっては、苦情申出人と誠意を持って話し合い解決した。

⑺ 社会福祉充実計画の作成と実績

令和３年度決算において、社会福祉充実残額が算定されたため、社会福祉充実計画を作成し、静岡県知事の承認を受けて計画に基づいて事業を実施した。

① 社会福祉充実残額　8,360,000 円
② 計画年度　令和４年度から令和８年度まで
③ 計画内容　㋐職員資質向上事業　㋑職員健康増進事業　㋒職員処遇改善事業
㋓生活支援体制安定化事業　㋔居場所・交流事業
㋕社会福祉事業評価事業

令和４年度実績

事　業　名	事　業　費	実　績　額	差　額
職員資質向上事業	251,000 円	140,549 円	110,451 円
職員健康増進事業	265,000 円	259,788 円	5,212 円
職員処遇改善事業	252,000 円	234,000 円	18,000 円
居場所・交流事業	100,000 円	76,451 円	23,549 円
合　　計	868,000 円	710,788 円	157,212 円

２　地域福祉活動推進事業

⑴ 第６次清水町社協地域福祉活動計画の策定

地域福祉活動推進に向け、現行の第５次清水町社協地域福祉活動計画が、令和４年度をもって終了することから、第５次清水町社協地域福祉活動計画の見直しを行うと共に、町の策定する第４次清水町地域福祉計画との整合を図りながら、第６次清水町社協地域福祉活動計画（令和５年度から令和９年度まで）の５年間の計画として策定した。

令和４年10月24日	第６次清水町社協地域福祉活動計画策定委員会（第１回）
12月７日	第６次清水町社協地域福祉活動計画策定委員会（第２回）
令和５年２月８日	第６次清水町社協地域福祉活動計画策定委員会（第３回）
３月27日	第６次清水町社協地域福祉活動計画策定委員会（第４回）

⑵ 福祉教育の推進

例年、小学校の夏休みを利用して、小学生の親子を対象に「認知症サポーター養成講座及び車いす体験」「手話ミニミニ講座」「点字ミニミニ講座」「災害時ホームアローン講座」などの体験プログラムを開催した。

また、中学校の夏休みを利用して、中学生を対象に、「柿田川作業所体験」の体験プログラムを開催した。

小学生

行　事　名	開催日	参加人数				
		清水小学校	南小学校	西小学校	保護者	合計
認知症サポーター養成講座及び車いす体験	7月28日	5人	6人	1人	6人	18人
点字ミニミニ講座	8月1日	5人	9人	1人	4人	19人
災害時ホームアローン講座	8月3日	9人	10人	1人	10人	30人
手話ミニミニ講座	8月8日	10人	15人	0人	9人	34人

中学生

行　事　名	開催日	参加人数		
		清水中学校	南中学校	合計
柿田川作業所体験	8月1～4日（計4日）	延べ4人	延べ4人	延べ8人

⑶ 小口資金の貸付（町社協独自事業）

生活困窮者に対し、緊急または不時の出費を要する場合に、小口資金の貸付け及び自立更生に向けた償還指導等相談業務を実施している。

小口資金の貸付状況（令和4年4月1日～令和5年3月まで）

貸付件数	貸付額合計
10件	317,000円

⑷ 戦没者を追悼し、平和を祈念する式典事業（町受託事業）

8月15日、戦争の悲惨さと平和の大切さを後世に伝えることを目的に式典を開催した。

⑸ 手話奉仕員養成講座事業（町受託事業）

手話の基本を学び、聴覚障害者とのコミュニケーションのかけ橋となる手話奉仕員養成講座は、基礎編のみ開催した。

⑹ 手話通訳者派遣事業（町受託事業）

聴覚障害者及び音声又は言語機能障害者が健聴者との意思の疎通を図ることを目的に、手話通訳者派遣に関するコーディネートを行った。

手話通訳者数（有資格者）　６名（清水町外在住者６名）
派遣対象の利用者数　　４名（清水町在住者）

（内訳）

生命・健康	44 件
官公署	３件
職業	12 件
教育	０件
教養・自己	１件
住居	０件
地域生活	１件
団体活動	16 件
その他	７件
コーディネート合計数	84 件

⑺ 要約筆記者派遣事業（町受託事業）

中途失聴者・難聴者との意思の疎通を図ることを目的に要約筆記者派遣事業を実施しているが、令和４年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、会議やイベントが中止となり、要約筆記者の派遣依頼はなかった。

要約筆記者（有資格者）	９名　（清水町外在住者９名）
コーディネート合計数	０件

⑻ 成年後見推進事業（町受託事業）

市民後見人の育成にあたっては、沼津市、裾野市、長泉町、清水町の２市２町共同開催体制で市民後見人養成講座を開催した。

また、市民後見養成講座に向けて啓発講演会では、２市２町の住民を対象に、市民(町民）に向けた成年後見制度啓発公開講座を開催すると共に、ボランティア連絡会と民生委員児童委員連絡会のご協力で清水町独自の啓発講座を実施した。

≪２市２町市民後見人養成講座開催数≫

会場	回数	受講修了者数
裾野市市民文化会館	10 回	３人

≪啓発講演会≫

開催日	会場	対象者
令和４年６月７日	清水町福祉センター	ボランティア連絡会総会（しんきん成年後見講演会）
８月５日	裾野市市民文化会館	２市２町の一般住民向け講演会
８月 10 日	清水町福祉センター	清水町民生委員児童委員協議会定例会における成年後見講演会
10 月 23 日	清水町福祉センター	町民向け成年後見制度公開講座＆相談会

⑼ 啓発活動

社協ホームページ及びFacebook（フェイスブック）を充実とお知らせ等の情報発信の頻度を高めた。また、従来の社協業務パンフレット、福祉センター会館パンフレット、ボランティア紹介パンフレット、社協だより、地域包括支援センターニュースを活用して、社協の行事案内、事業報告、福祉情報の提供等を行った。

⑽ 災害ボランティア本部立ち上げ訓練の実施

災害が起きた場合に、被災者･被災地を支える多数のボランティアを受け入れることから、町総合防災訓練において、災害ボランティア本部立ち上げ訓練を災害ボランティアコーディネーターの協力のもと毎年実施しているが、令和４年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、災害ボランティア本部立ち上げ訓練は中止した。

⑾ 災害ボランティアコーディネーター養成講座の開催

災害時に支援を必要とする方とボランティアをつなぐ災害ボランティアコーディネーターの養成講座を開催した。

開催日	受講者数
令和４年 10 月 30 日	４人

３ 在宅福祉推進事業

⑴ 日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

判断能力が不十分な人が家庭や地域において自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理、通帳や証書等の管理を本人の意思を尊重しながら支援した。

（令和５年３月末日現在）

本事業相談・支援のべ件数	378 件
契約件数（内新規契約件数）	７件（０件）
相談・支援体制	専門員２名、生活支援員５名

⑵ 生活困窮者自立相談支援事業（県受託事業）

静岡県から自立相談支援機関として、自立相談支援事業と家計相談支援事業の業務委託を受け、利用者の同意に基づき、生活に困窮する人が地域で自立した生活が送れるよう、関係機関と連携を図りながら適切なサポートを行った。

なお、令和４年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大による休業や失業等により、生活費等で困窮している方に対し、生活困窮関係相談（生活福祉資金貸付相談・住居確保給付金手続相談・新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金申請相談・フードバンク申込相談等）で 75 件の新規相談を受付した。相談者増加に伴い、令和４年度は、県社協から臨時職員１名の派遣を受け対応した。

（令和５年３月末日現在）

区 分	自立相談支援事業	家計相談支援事業
相談受付件数	75 件	５件
申込件数（本人同意ありのみ）	18 件	
相談・支援体制	相談員２名	
生活困窮者支援調整会議	12 回	
ケース検討会議	０回	
住居確保給付金	相談 15 件	申請５件
新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金	申請 17 件	

⑶ 生活支援体制整備事業（町受託事業）

隔月に１回、協議体会議を開催し、高齢者関係団体と連携を図りながら、高齢者の社会資源調査及び生活支援のニーズ把握に努めた。

ア）協議体会議の開催

令和４年４月、５月、８月、11 月、令和５年２月の合計５回開催した。

イ）住民主体の地域支え合い勉強会の開催

開 催 日	内 容
令和４年 10 月 22 日	中徳倉区の役員・シニアクラブ・民生委員児童委員、町福祉介護課職員、地域包括支援センター職員、生活支援コーディネーターで、中徳倉区住民主体による地域支え合い勉強会を開催した。

ウ）地域の支え合い体制づくりに関する講演会

開 催 日	内 容 等
令和４年６月 20 日	演題：「高齢者の生活支援について（ゴミ出し・草取り・お掃除・買い物支援・外出支援ほか）」 講師：袋井市浅羽・笠原まちづくり協議会 生活支援ネットワーク“支え愛”委員長　廣岡　栄一　氏
7 月 26 日	第 23 回清水町社会福祉大会記念講演会 演題：「コロナに負けない健幸な体づくり」 講師：健幸コンシェルジュ/フィットネスプラザ・スプラッシュ 瀧戸　彩　氏

エ）地域支え合い生活支援サポーター養成講座

高齢者が日常感じるちょっとした困りごとのお手伝いを行う、高齢者のための生活支援サポーター（生活支援ボランティアの担い手）を養成する講座『令和４年度清水町地域支え合い生活支援サポーター養成講座』を開催した。

（養成講座）

開　催　日	内 容 等	受講者数
令和４年６月 13 日	生活支援サポーター養成講座　第１回	19 名
６月 20 日	生活支援サポーター養成講座　第２回	18 名
６月 27 日	生活支援サポーター養成講座　第３回	19 名

（公開講座）

開　催　日	内 容 等
令和４年６月 13 日	演題：「高齢者の生活支援について（ゴミ出し・草取り・お掃除・買い物支援・外出支援ほか）」 講師：袋井市浅羽・笠原まちづくり協議会 生活支援ネットワーク“支え愛”委員長　廣岡栄一　氏

オ）生活支援サポーターささえ愛事業

高齢者の皆さんが住み慣れた地域で暮らしていけるよう、高齢者の日常のちょっとした困りごとのお手伝いを”できるときに、できることを、できるひと”が行う身近な地域のボランティア（生活支援サポーター）を養成した。

利用者会員	０名
サポーター会員	18 名

⑷　福祉総合相談事業

総合相談･･･(開設時間　月曜日～金曜日　９：00～17：00)

日常の困りごとなど、総合的な相談窓口を開設した。

ア）高齢者在宅介護相談・介護保険関係相談は、地域包括支援センター・居宅介護支援事業所において相談受付及び対応をした。

イ）障害者相談は、相談支援事業所の障害者総合相談で受付及び対応をした。

相談内容	受付件数
心配ごと・生活	4
ボランティア関係	2
福祉体験	0
障害相談	1
生活〈貸付〉	0
福祉サービス	1
福祉センター会館管理（ご意見箱含む）	2
その他	2
合　計	12(ケース)

4　福祉団体事業

⑴　福祉団体に対する支援

当事者福祉団体の組織の強化と支援を目的に、団体の自主性を尊重しながら、事務や活動支援及び福祉団体活動補助金を交付した。

福祉団体（６団体）活動補助金合計金額	1,688,400 円

⑵　町シニアクラブ連合会の活動支援

清水町シニアクラブ連合会の活動に対して、側面的な支援を行った。

≪シニアクラブ本部行事≫

令和４年９月６日	グラウンドゴルフ大会
11 月 15 日	ペタンク大会
12 月２日	文化祭・趣味の会展示会（12 月２日～12 月８日）

なお、シニアクラブの諸行事（文化祭（舞台の部）、輪投げ大会、スポーツ大会、新春演芸大会）は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

5　共同募金助成金事業

共同募金助成金事業では、例年赤い羽根共同募金の助成金を受け、ふれあい広場、社会福祉大会を開催している。

また、今年度新たにボランティア連絡会と連携して、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を実施し、訓練に伴う備品の整理、こども遊び場遊具助成事業として、子どもたちが安心安全に過ごせるように児童館遊具を整えた。加えて、新型コロナウイルス感染症の影響を受け困窮した世帯等やひとり親会に食糧や日常品を支援した。

⑴　第 23 回町社会福祉大会の開催

７月 26 日、社会福祉協議会役員、民生委員児童委員、ボランティア、各種福祉関係者を対象に参加人数を制限して、社会福祉大会を３年ぶりに開催するとともに、社会福祉への功労者に対して顕彰を行った。（参加者 80 名）

また、第２部では、フィットネスプラザ・スプラッシュ　健幸コンシェルジュ瀧戸彩氏を招き、『コロナに負けない健幸な体づくり』と題し講演を行った。

⑵　第 42 回町ふれあい広場の開催

新型コロナウイルス感染症の防止のため、令和２年度～３年度まで休止していたふれあい広場は、開催時間や参加団体を制限したうえで、清水町福祉センターを会場に、３年ぶりに開催し、約 750 名の町民が参加した。

令和４年 10 月 31 日	ふれあい広場実行委員会（第１回）
11 月 18 日	前日の準備
11 月 19 日	ふれあい広場当日
12 月 13 日	ふれあい広場実行委員会（第２回）

⑶ 社協だよりの発行

町民に対する福祉啓発を促進するため、共同募金配分金事業の配分金を活用して、『社協だより』を３回発行した。（全戸配布）

発行日	令和４年６月１日発行	第 132 号
	10 月１日発行	第 133 号
	令和５年２月１日発行	第 134 号

⑷ 福祉教育の推進（助成金交付）

児童・生徒に思いやりや、やさしい心遣いを理解していただくため、町内の小・中学校を当社協指定の福祉教育実践校として位置づけ、福祉教育事業を推進した。

また、各指定校においては、各学校単位で総合的な学習や体験学習などに取り組み、社協は活動プログラムの提供や備品の貸出し、関係機関との調整などで協力した。

なお、共同募金配分金事業の配分金を活用して、下記のとおり、町内小中学校へ福祉教育実践校事業助成金を交付した。

学校名	福祉教育実践校事業助成金
清水小学校	50,000 円
南小学校	50,000 円
西小学校	50,000 円
清水中学校	50,000 円
南中学校	50,000 円

⑸ 社協登録ボランティアへの支援

ボランティア活動を始めたい人（団体）、ボランティアを必要としている人（団体）へボランティア活動をする上での相談に応じた。また、登録ボランティアの育成及び活動に対する調整を行った。

⑹ 清水町ボランティア連絡会の活動支援

ボランティア活動が円滑にすすめられるよう、また、グループ同士の情報交換、ニーズ把握、需給調整の場としてボランティア連絡会（代表者会議）を支援した。

≪ボランティア連絡会の主な行事≫

①交流情報交換②育成研修③関係機関、団体との連携（当事者団体、施設との懇談）④調査・研究⑤高齢者支援ネットワーク連絡調整会議・協議体等への参画

代表者会議	年５回
役員会	年６回
総会	令和４年６月７日
介護の担い手養成講座への協力	なし
ボランティア交流会	なし
県ボランティア研究集会への参加	令和５年２月 19 日

⑺ 清水町社協ボランティア登録数（令和５年３月末日現在）

清水町ボランティア連絡会登録ボランティアグループ数	18 団体
登録ボランティア数	250 人
個人ボランティア数	５人
計	255 人

⑻ ボランティアグループへの活動助成

ボランティア活動中の不慮の事故に備え、安心してボランティア活動ができるよう、社会福祉協議会登録ボランティアに対し、ボランティア活動保険料を助成した。

また、円滑な活動ができるようボランティアグループへ活動費を助成した。

令和５年３月末日までのボランティア保険への助成件数（社協負担のみ）	236 件
令和５年３月末日までのボランティア保険への助成額	84,400 円
ボランティアグループ補助金交付グループ数	13 団体
ボランティアグループ補助金額	245,000 円
計	329,400 円

６　いきいきサロン事業（町受託事業）

介護予防サービスを必要とする高齢者を対象に月に２回、地域の公民館を活用して『いきいきサロン事業』を開催しているが、令和４年度の『いきいきサロン事業』は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人数制限及び時間を短縮して午前中の開催とした。

開　催　日	実施場所	参加人数等	実施内容
令和４年７月７日	伏見区公民館	高齢者 11 名・協力者２名	ヨガ教室 防犯講話
７月 22 日	下徳倉公民館	高齢者 18 名・協力者３名	手芸教室
８月 26 日	伏見区公民館	高齢者 15 名・協力者２名	３Ｂ体操教室 消費生活講座
９月 14 日	柿田区公民館	高齢者 20 名・協力者４名	認知症講座
９月 16 日	上徳倉区公民館	高齢者 29 名・協力者１名	ストレッチ体操教室
10 月 18 日	外原区公民館	高齢者 12 名・協力者７名	舞踊鑑賞 ボッチャ・輪投げ
10 月 25 日	八幡区公民館	高齢者 19 名・協力者７名	ヨガ教室 フラダンス鑑賞
11 月９日	戸畑区公民館	高齢者 13 名・協力者３名	３Ｂ体操教室 ハーモニカ・レク
11 月 24 日	的場区公民館	高齢者 19 名・協力者２名	手芸教室
12 月９日	上徳倉区公民館	高齢者 29 名・協力者１名	交通安全教室 トーンチャイム
12 月 14 日	久米田公民館	高齢者 20 名・協力者２名	手芸教室 健幸スポーツの駅について
令和５年１月 18 日	伏見区公民館	高齢者 25 名・協力者 29 名	高校生によるデジタル支援スマホ・タブレット教室
１月 27 日	下徳倉公民館	高齢者 19 名・協力者２名	３Ｂ体操教室 健幸スポーツの駅について
２月 10 日	中徳倉公民館	高齢者 19 名・協力者２名	ハーモニカ演奏、クイズ 健幸スポーツの駅について
２月 24 日	長沢公民館	高齢者 31 名・協力者６名	健幸スポーツの駅について、フラダンス
３月８日	柿田公民館	高齢者 20 名・協力者２名	健幸スポーツの駅について、消費生活講座
３月 23 日	八幡公民館	高齢者 28 名・協力者２名	健幸スポーツの駅について、特殊詐欺講話

7　実習生受入れ状況

実習目的（資格等）	延べ人数	延べ実習日数	依頼元
看護師	８人	４日	静岡県立看護専門学校
看護師	14 人	８日	静岡医療センター看護学校
教員現場体験研修	６人	３日	清水町教育委員会
現場実習	２人	12 日	沼津特別支援学校

8　災害時応援派遣

令和４年９月、静岡市清水区豪雨災害に関連し、市町社協応援として職員７名を静岡市災害ボランティアセンターへ派遣した。

派　遣　日	派遣職員数
令和４年 10 月 7 日～9 日	２人
10 月 14 日～15 日	２人
10 月 15 日	１人
10 月 22 日	２人

第２　介護保険事業

１　訪問介護・介護予防日常生活支援総合［ホームヘルプサービス］事業（経営事業）

⑴　訪問介護事業

介護保険の指定訪問介護事業所として身体介護、生活援助のサービスを提供した。

訪問介護事業の実績

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	
利用者数	12	12	13	14	16	16	
派遣延べ回数	120	115	126	138	160	146	
派遣時間	89：17	83：57	97：41	105：06	127：09	112：49	
	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	集計
利用者数	15	15	12	10	9	0	144
派遣延べ回数	135	129	93	78	76	0	1,316
派遣時間	105：16	98：59	73：44	67：54	65：59	0：00	1,027：51

⑵　介護予防日常生活支援総合事業

介護保険の指定介護予防日常生活支援総合介護事業所として訪問型サービスの生活援助を提供した。

介護予防・日常生活支援総合事業の実績

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	
利用者数	12	13	13	11	10	10	
派遣延べ回数	76	73	88	63	67	63	
派遣時間	74:32	71:17	83:32	59:37	61:16	59:32	
	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	集計
利用者数	10	10	10	9	8	0	116
派遣延べ回数	61	64	57	59	53	0	724
派遣時間	62:46	59:17	56:18	56:56	50:44	0：00	695：47

⑶　ホームヘルパー勤務体制

月	常勤職員	非常勤職員	登録ヘルパー	月	常勤職員	非常勤職員	登録ヘルパー
4	2	1	3	10	2	1	3
5	2	1	3	11	2	1	3
6	2	1	3	12	2	1	3
7	2	1	3	1	2	1	3
8	2	1	3	2	2	1	3
9	2	1	3	3	2	1	0

令和４年度をもって訪問介護（ホームヘルプサービス）事業を終了した。

2　居宅介護支援事業（経営事業）

⑴　居宅介護支援事業

指定居宅介護支援事業所として、介護者及びサービス提供事業所との連絡調整、居宅介護計画（ケアプラン）の作成等を行い、国民健康保険団体連合会へ給付管理及び支援費請求を行った。

⑵　給付管理数・支援費請求数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
ケアマネA	36	32	32	31	30	23	22	12	10	8	8	0	244
ケアマネB	29	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31
合計	65	34	32	31	30	23	22	12	10	8	8	0	275

⑶　介護予防担当数・請求数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
ケアマネA	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	2	0	52
ケアマネB	10	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19
合計	15	14	5	5	5	5	5	5	5	5	2	0	71

⑷　総合事業担当数・請求数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
ケアマネA	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	0	25
ケアマネB	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
合計	5	4	3	2	2	2	2	2	2	2	2	0	28

⑸　加算の請求数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
初回加算	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
退院・退所	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
二段階変更	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院情報提供	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑹　研修会等

研 修 内 容	研修日
ケアマネジャー連絡会	毎月　第３火曜日

令和４年度をもって居宅介護支援事業を終了した。

３　地域包括支援センター事業（町受託事業）

清水町地域包括支援センターでは、地域包括支援センター事業（①総合相談事業、②権利擁護事業、③包括的・継続的ケアマネジメント、④介護予防マネジメント事業）に加えて、⑤在宅医療・介護連携推進事業（在宅医療介護連携に関する相談窓口）⑥認知症総合支援事業（認知症初期集中支援事業・認知症地域支援ケア向上事業）⑦家族介護支援事業に取り組んでいる。また、事業の実施にあたっては、高齢者の心身の状況・環境等を考慮し、専門知識を生かして常に高齢者の立場に立った支援を行い、高齢者の意思及び人格が尊重され、高齢者の選択に基づき、福祉保健医療機関との連携を図り、総合的・効率的にサービスが提供されるよう公正中立の立場で調整を行った。

令和４年度は、地域包括ケアシステム構築の推進と認知症総合支援事業の推進を重点目標とした。（ウェルシア新宿店・徳倉店）のウェルカフェにおいて開催していた定例会は令和４年度をもって終了した。

臨時職員１名を４ヶ月間配置して、実態把握と在宅福祉サービスの更新申請事務を行った。

主な事業

事　業	内　容	回数等
総合相談	・介護方法・介護機器・福祉サービス・介護予防サービス等の相談に対して助言・指導・サービス調整などを行った。また、必要に応じて、専門性を活かし３職種が協働してケースに対応した。 ・困難事例などは関係者を招集して地域ケア個別ケース会議を開催して対応した。	4,034 件 9 件
実態把握	・臨戸訪問や介護予防・生活支援事業の申請代行時などに実態把握を行った。	430 件
介護予防プラン作成	・要支援１、２の者と事業対象者の状態を改善・維持するため介護予防プランを作成した。居宅介護支援事業所に作成を依頼したプランは指導管理した。	304 件
在宅福サービス利用調査	・介護予防・生活支援事業（配食サービス・紙おむつ給付等）の提供を決定するための調査を行った。	194 件
啓発事業	・支援センターニュース（第 27 号 2/1 発行は特集認知症７）を発行し、全戸配布した。 ・支援センターニュースを町内の医療機関・介護事業所・コンビニ・金融機関と町の施設に配架した。 ・在宅介護者のつどい・オレンジカフェの年間予定表を各公民館に掲示した。	1 回発行
高齢者支援ネットワーク	職種ごとの連絡会を開催し、行政と連絡会代表者の連絡調整会議を開催した。また、他団体の会議に出席した。	〔別表１〕
権利擁護に対する対応	・判断能力が低下している高齢者には日常生活自立支援事業や成年後見制度を案内し、必要に応じて弁護士等に結びつけた。(65 件) ・高齢者虐待防止対策会議・(虐待）地域ケア個別ケ	97 件

	ース会議を設置し、虐待通報を受理した際は速やかに事実確認を行い、関係者と対応を協議した。(31 件) ・消費者被害の対応は町消費生活センターと連携し対応するが、実績はなかった。(1 件) ・民生児童委員・介護事業所へ消費者被害の注意喚起を行った。	
ケアマネジャー支援	・コロナ感染症予防対策としてケアマネジャー連絡会は WEB 会議とした。連絡会において各種情報提供等を行った。	12 回
在宅介護者のつどい	・情報交換や交流に加えて、介護教室（薬のリスク・認知症疾患センターについて)・リフレッシュ（ヨガ・クリスマスグッズづくり）などを行った。	12 回・34 人
研　修	・職員の資質向上のために研修を受講した。	〔別表２〕
在宅医療介護連携に関する相談	・病院（ソーシャルワーカーや看護師）の退院支援や来院しない患者に関する相談に対応した。	147 件
認知症総合支援事業	・認知症初期集中支援チームは、医療機関の受診と介護サービスの利用を調整した。 ・認知症地域支援専門員は、オレンジカフェやキャラバンメイト連絡会を開催した。また、キャラバンメイトやサポーターの研修を行った。	80 回
その他	・介護保険適用外の在宅者に車いすを貸与した。	33 件

〔別表１〕

地域包括支援センター主催の連絡会　26 回

連絡会名	回　数	延べ参加者数
連絡会調整会議	３回	39 人
行政・地域包括支援センター連絡会	２回	８人
ケアマネジャー連絡会	12 回	328 人
ホームヘルプサービス連絡会	３回	25 人
デイサービス・デイケア連絡会	３回	49 人
施設入所・ショートステイ連絡会	３回	42 人

他機関主催の連絡会　15 回

連絡会名	回　数
ボランティア連絡会	３回
民生委員児童委員協議会定例会	12 回

〔別表２〕

研　修　名	日　数
主任介護支援専門員更新研修	９日間
コミュニティーソーシャルワーク実践者養成研修	４日間
認知症地域支援推進員現任研修	２日間
多職種連携研修	１日間
認知症初期集中支援チーム員研修	１日間
ファシリテーション講座	１日間
キャラバンメイト養成研修	１日間

第３　老人福祉センター

１　福祉センター管理事業（町指定管理事業）

福祉センターは令和２年４月から５年間、町から「指定管理者」として会館管理事業を受託し管理運営している。福祉センター会館管理にあたっては、町民の社会福祉の増進を図る事業を行うとともに、効率的な運営とサービス向上に努めた。

⑴　福祉センター利用者数実績

（夜間利用者含む）

区　分	施設名	令和２年度		令和３年度		**令和４年度**	
		開館日数（日）	利用者数（人）	開館日数（日）	利用者数（人）	**開館日数（日）**	**利用者数（人）**
福祉センター	多目的ホール	256	2,717	215	3,637	**295**	**6,986**
	会議室等	300	7,422	292	7,446	**295**	**12,540**
	食堂ほか	297	1,693	310	2,331	**295**	**2,389**
	児童館	257	1,134	208	1,710	**293**	**3,273**
	地域活動支援センター	232	457	242	432	**242**	**638**
	喫茶せせらぎ	155	1,347	128	1,142	**185**	**2,035**
	小計		14,770		16,698		**27,861**
シニアセンター	かわせみホール	256	367	216	1,065	**295**	**3,015**
	和室等	261	301	213	468	**295**	**1,101**
	小計		668		1,533		**4,116**
柿田川作業所	柿田川作業所	246	3,771	259	4,132	**243**	**4,058**
	小計		3,771		4,132		**4,058**
合　計			19,209		22,363		**36,035**

⑵　福祉センター常設居場所づくり

令和４年度の福祉センター常設居場所づくりは、『オレンジカフェ（認知症カフェ）』『体操教室（アンチエイジング体操教室）』『囲碁・将棋を楽しむ会』『わくわく囲碁サロン』『地域（子ども）食堂』『高齢者パソコン教室』を開催した。

なお、『男の料理教室』『カラオケの日』『健康麻雀』『手芸教室』新型コロナウイルス感染防止のため、休止とした。

オレンジカフェ（認知症カフェ）

開催曜日・時間	開　催　日		参加者数（人）
第４金曜日 13 時 30 分～15 時 ７月　第５金曜日 ９月　第３金曜日	第１回	令和４年４月 22 日	15
	第２回	５月 27 日	20
	第３回	６月 24 日	31
	第４回	７月 22 日	10
	第５回	８月 26 日	12
	第６回	９月 16 日	14
	第７回	10 月 28 日	20
	第８回	11 月 25 日	13
	第９回	12 月 23 日	16

	第 10 回	令和５年１月 27 日	17
	第 11 回	２月 27 日	13
	第 12 回	３月 24 日	24
開催場所	福祉センター２階多目的ホール		
延べ利用者数	205 人		
1 回平均利用者数	開催日数：12 日　　17 人		

アンチエイジング体操教室

開催曜日・時間	開　催　日		参加者数(人)
	令和４年７月	５日、12 日、26 日	55
毎週　火曜日	８月	９日、23 日、30 日	52
13 時 30 分～	９月	６日、13 日、27 日	51
15 時 15 分	10 月	４日、18 日、25 日	53
	11 月	1 日、8 日、15 日、22 日、29 日	92
	12 月	６日、13 日、20 日、27 日	73
	令和５年１月	10 日、17 日、24 日	58
開催場所	福祉センター１階会議室①		
延べ利用者数	434 人		
1 回平均利用者数	開催日数：24 日　　18 人		

囲碁・将棋を楽しむ会

開催曜日・時間	開　催　日		参加者数 (人)
	令和４年４月	２日、９日、16 日、23 日	26
毎週　土曜日	５月	14 日、21 日、28 日	18
13 時 30 分～	６月	４日、11 日、18 日、25 日	17
16 時 00 分	７月	２日、９日、16 日、23 日、30 日	20
	８月	６日、20 日、27 日	14
	９月	３日、10 日、17 日	12
	10 月	１日、８日、15 日、22 日、29 日	24
	11 月	５日、12 日、26 日	13
	12 月	３日、10 日、17 日、24 日	18
	令和５年１月	７日、14 日、21 日、28 日	16
	２月	４日、11 日、18 日、25 日	19
	３月	４日、18 日、25 日	15
開催場所	福祉センター３階会議室⑤／シニアセンター１階集会室		
延べ利用者数	212 人		
1 回平均利用者数	開催日数：45 日　　５人		

柿田川わくわく食堂・・・運営地域食堂ボランティア

開催曜日・時間	開　催　日		参加者数 (人)
隔月第２土曜日	第１回	令和４年 10 月８日	39
11 時 30 分～13 時 30 分	第２回	12 月 10 日	54

	第３回	令和５年２月 11 日	77
開催場所	福祉センター１階食堂		
延べ利用者数	170 人		
1 回平均利用者数	開催日数：３日　　57 人		

シニアのためのらくらくパソコン教室

開催曜日・時間	開　催　日		参加者数（人）
隔週　木曜日 10 時 00 分～11 時 30 分	令和４年７月	７日、21 日	17
	８月	４日、18 日	18
	９月	１日、15 日	15
	10 月	６日、20 日	18
	11 月	17 日	９
	12 月	１日、15 日	17
開催場所	福祉センター１階会議室①		
延べ利用者数	94 人		
1 回平均利用者数	開催日数：11 日　　９人		

⑶　防災・防火・避難訓練

福祉センター及び柿田川作業所の施設全体で、地震・火災などを想定した避難訓練を年２回実施した。訓練には、施設利用者、

なお、シルバー人材センター職員も参加した。

開　催　日	内　容
令和４年８月 29 日	第１回　火災による避難誘導訓練
令和５年１月 30 日	第２回　火災による避難誘導訓練

⑷　福祉センター利用者アンケート（利用者満足度調査）の実施

清水町福祉センターの利便性向上を図るため、日頃清水町福祉センターを利用される利用者約 100 名を対象に施設利用に関するアンケート調査を実施した。

ア）利用者アンケート調査時期・・・令和５年１月 16 日～２月 13 日

イ）利用者アンケート調査依頼先及び配布数

調査依頼先団体名	シニアクラブ理事会、赤十字奉仕団、家庭倫理の会、アンチエイジング体操教室、ボランティア連絡会、シニア手芸部、シニア舞踊部、わくわく囲碁サロン、ハッピードリーム、児童館利用者、書道クラブ、フラダンスサークル
合計配布数	130 枚

ウ）アンケート回収数

111 枚

エ）利用者アンケート調査結果について

利用者アンケートの調査結果はホームページに公開した。

第４　児童事業

１　放課後児童教室（町受託事業）

西小学校１年生から６年生までの放課後保護者が共働きの児童に対する保育を行った。

⑴　西小学校　　（指導員数　６名）（令和5年3月末日現在）

開所日数	242 日（内、夏・冬・春休みの開所日 40 日）
延べ出席者数	10,992 人
１日平均利用者数	45 人
長期休み延べ出席児童数	1,446 人
１日平均出席児童数	36 人

（児童数）

１年生	男 10 人 女 11 人	４年生	男　０人 女　０人
２年生	男　９人 女　８人	５年生	男　１人 女　１人
３年生	男　８人 女　６人	６年生	男　１人 女　０人
		合計	55 人

⑵　土曜日の開所状況

土曜日開所日数	47 日
延べ出席者数	107 人
１日平均利用者数	２人

⑶　ボランティアの受入れ

なし

⑷　職員研修

令和４年 11 月　４日 11 月 11 日	令和４年度放課後児童クラブ支援員等実地研修

⑸　その他

指導員は、毎月１回のミーティングを行った。

第５　柿田川作業所

１　就労継続支援Ｂ型事業（経営事業）

⑴ 利用者構成（令和５年３月 31 日現在）＊重複障害の場合は主障害を記入する。

	年齢／障害	～19	20～29	30～39	40～49	50～	計
男	身体障害					1	1
	知的障害		3	1	1	5	10
	精神障害等						
女	身体障害					1	1
	知的障害			2	2	2	6
	精神障害等						
計			3	3	3	9	18

定員（１日当たり）：20 人／在籍者数：18 人／令和４年度平均利用者数（１日当たり）：16 人

⑵ 生産活動

当所における日中活動支援の主軸となるものは、利用者の「働く」活動への参加支援である。利用される方が、働く活動によって自己実現や生きがいを見出し、社会的役割や他者（仲間）との交流を実感できるよう個別のニーズに寄り添い支援した。

なお、新型コロナウイルス感染予防のため地域イベント等の参加は中止した。

ア）下請作業（企業・団体からの受注作業）

作業内容	個別情報			
	会社名等	所在地	令和４年度売上げ	開始年
１）菓子箱折、組立結束	㈱三協紙器	清水町	357,390 円	平成３年
２）点字名刺作製	全国各事業所より	全　国	199,810 円	平成12年
３）鋳物・鋳型用具の作製	㈱木村鋳造所	清水町	480,342 円	平成14年
４）トイレットペーパー	清水町	清水町	873,792 円	平成25年
５）町立図書館書架清掃	清水町	清水町	15,165 円	平成25年
６）菓子箱折	㈲鈴木印刷製作所	伊東市	3,150 円	平成28年
７）ペン組立作業	㈲進東産業	清水町	470,200 円	令和２年
８）コピー機バネ組立作業	㈱静宏産業	沼津市	634,336 円	令和４年
計			3,034,185 円	

イ）自主作業（作業所自主製品の製造・販売）

作業内容	令和４年度売上げ
１）縫製品（ポーチ、巾着バック、絵本バック、子育支援センター用名札、刺し子、防災用黄色いハンカチ、ゆうすいくんマスク等）	454,783 円
２）固形石鹸（仕入包装）	

※　自主製品の販路

店舗販売	作業所玄関フロアー	
	販売 委託	①“とも”沼津店（沼津商連会館ビル内）
		②わくら柿田川（清水町観光協会）

ウ）喫茶室“せせらぎ”出店

新型コロナウイルスのため店舗開店について自粛した。

① 店舗開店数（延べ来客者数）	185 日（2,035 人）
②（３役会含）への出張販売	17 回
令和４年度売上げ合計	497,020 円

⑶　利用者工賃

作業収入より原材料等の必要経費を控除し、以下の方法により利用者工賃を支給した。

ア）月工賃　毎月１回（月末締め翌月 15 日払い）

イ）ボーナス　年２回（８月、12 月）作業収入の状況により調整して支給した。

令和４年度利用者への工賃支払い総額	2,745,428 円

⑷　通常時活動プログラム

８：30	常勤職員出勤
８：30～８：40	ミーティング、休み連絡受取
８：40～９：20	送迎、利用者見守り
第１・２作業室・作業棟 ９：30～12：30	生産活動　相談支援 各作業部屋 15 分休憩
第１・２作業室・作業棟 12：30～13：30	昼食
第１・２作業室・作業棟 13：30～15：00	生産活動　相談支援 選択活動（余暇交流・外出・学習・趣味等） 各作業部屋 15 分休憩
15：00～16：00	帰宅送迎

⑸　選択活動

利用者が自ら選択し主体的に参加する趣味的余暇活動を支援した。なお、新型コロナウイルス感染防止のため、音楽療法・スポーツ・クリスマス会などは中止した。

活動内容	実施回数	実施場所
パソコン学習	12 回	柿田川作業所

⑹ 社会体験活動

新型コロナウイルス感染防止のため、春と秋に行っていた社会体験レクリエーションは中止した。代わりに社会体験活動地域交流マナー体験を行った。

活動内容	開　催　日	実施場所
社会体験活動地域交流マナー	令和４年 12 月 14 日（木）	毎日牧場

⑺ 地域交流活動

柿田川作業所に期待される機能として、利用者の地域社会への参加と交流が求められている。そのため、特別支援学校等に福祉体験の場と民生委員児童委員協議会、地元中学生など地域の方々にボランティア活動体験の機会を提供し、さらに地域イベントへの積極的な参加と自主企画の地域交流イベントを実施した。

なお、新型コロナウイルス感染防止のため、一部の活動は中止した。

団　体	ボランティア・研修内容	実施日・人数
①清水町民生委員児童委員協議会障害者福祉部会	下請作業支援等	11 月 11 日、25 日（各２名）
	春の社会体験同行、交流	（５名）中止
	秋の社会体験同行、交流	（５名）中止
②清水町民生委員児童委員協議会地域福祉部会	調理実習手伝い、交流	毎月第４木曜日（各４名）中止
③ボランティア	縫製作業等	毎週木曜日（各４～５名） 感染拡大期は中止
④清水中学校・南中学校	夏休み中学生ボランティア	≪全５日（午前中）≫中止
⑤沼津特別支援学校	現場実習	６月 20 日～６月 30 日 （全５日延べ１名）
⑥清水町教員現場研修	体験実習	11 月１日、２日、14 日 （全３日延べ６名）
⑦沼津特別支援学校	現場実習	７月５日～７月８日 （全４日延べ１名）

⑻ 『柿田川通信』の発行

選択活動の紹介や月間予定表、福祉のニュースを載せた通信を配布した。

⑼ 保護者会

新型コロナウイルス感染防止対策により保護者会、役員会、総会を中止し、総会は書面による議決とした。

⑽ 会議・集会・研修等

ア）会議

①支援会議

個別ケース検討及び活動プログラムについての支援会議を毎月１回実施した。

②個別支援会議
アセスメント・モニタリング時、個別支援会議、サービス担当者会議を実施した。
③午前９時 20 分～９時 25 分…職員ミーティングを毎日実施した。

イ）研修等

開　催　日	会議・研修名	会　　場	参加者数
令和４年５月 26 日	市町社会福祉協議会新任研修	レイアップ御幸町ビル	１人
５月 27 日	〃	〃	１人
７月８日～10 日	食品衛生責任者養成講座	オンデマンド	１人
９月 12 日	強度行動障害支援者養成(基礎)	オンデマンド	１人
９月 14 日	〃	〃	１人
11 月 19 日	福祉サービス苦情解決研修会	沼津商工会議所会館	１人
11 月 22 日	強度行動障害支援者養成(実践)	オンデマンド	１人
11 月 25 日	〃	〃	１人
令和５年１月 16 日	障害者虐待防止・権利擁護研修	オンデマンド	１人
１月 23 日	ゲートキーパー養成研修会	清水町役場	１人

ウ）自立支援協議会への出席

開　催　日	会議・研修名	会　　場	参加者数
令和４年６月 29 日	第１回清水町障害者自立支援協議会 各部会からの報告・日中サービス支援型グループホームの評価・その他	清水町役場 ３階大会議室	１人
12 月 21 日	第３回清水町障害者自立支援協議会 各部会からの報告・事例検討 障害福祉計画の進捗状況・閉会	清水町役場 ３階大会議室	１人
令和５年３月２日	第４回清水町障害者自立支援協議会	清水町役場 ４階第１会議室	１人
清水町障害者自立支援協議会専門部会「くらし・就労部会」			
令和４年４月 27 日	第１回くらし・就労部会「事業所紹介・全体会開催各部会について」	福祉センター 第２会議室	１人
８月 24 日	第２回くらし・就労部会 事業所案内・パンフレット作成・困難事例	福祉センター 第３会議室	１人
12 月 21 日	第３回くらし・就労部会 パンフレット作成・困難事例・連絡事項	福祉センター 第１会議室	１人
令和５年３月 23 日	第４回くらし・就労部会 来年度の就労部会・体制について各事業所の状況について情報共有	福祉センター 第１会議室	２人

2　障害者相談支援事業（町受託事業）

⑴　計画相談支援／障害児相談支援

ア）サービス利用支援

障害のある方（18 歳以上）の意向やニーズに基づき「サービス等利用計画案」の作成を行った。サービス支給決定後は、各福祉サービス事業者と担当者会議及び連絡調整を行い「サービス等利用計画」を作成した。

イ）障害児支援利用援助

障害児（18 歳未満）又はその保護者の障害児通所支援の利用に関する意向やその他の事情に基づき「障害児支援利用計画案」を作成した。給付決定後は、通所事業者等と担当者会議及び連絡調整を行い「障害児支援利用計画」を作成した。

ウ）継続サービス利用支援・継続障害児支援利用援助（モニタリング）

作成された「サービス等利用計画」または「障害児支援利用計画」が適切かどうか、定期的な利用状況の検証、効果の分析や評価（モニタリング）を行った。

その際、必要に応じて福祉サービス事業所と連絡調整等をして計画の見直しを行った。

⑵　計画相談/継続サービス利用支援（人数）

（人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実績人数		62	72	113	131	134	138	142	144	148	151	154	159	1,548
内訳	障害者	54	62	82	92	95	96	96	97	99	101	103	106	1,083
	障害児	8	10	31	39	39	42	46	47	49	50	51	53	465

⑶　一般的な相談業務（基本相談支援）

障害のある方やご家族からの相談に応じて、障害福祉に関する様々な内容に関し、情報提供や助言を行うとともに、行政・福祉・就労・保健・医療等の各種サービスとの連絡調整を行った。

また、必要に応じて、個別支援会議（ケース会議）の開催や、自立支援協議会で事例を共有した。

⑷　相談件数（内訳）／実相談者人数

（人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
相談者実人数		62	72	113	131	134	138	142	144	148	151	154	159
内訳	障害者	54	62	82	92	95	96	96	97	99	101	103	106
	障害児	8	10	31	39	39	42	46	47	49	50	51	53
内訳	① 身体障害	8	9	11	14	14	14	14	14	14	14	14	14
	② 重症心身	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	③ 知的障害	21	22	30	37	38	38	38	38	38	38	38	38
	④ 精神障害	22	28	34	36	38	40	40	40	41	43	45	46
	⑤ 発達障害	5	7	13	17	17	19	23	24	26	27	28	31
	⑥高次脳機能	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	⑥ その他	4	4	22	24	24	24	24	25	26	26	26	27

⑸　相談形態

（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実相談者人数	188	178	215	206	233	175	207	245	224	201	173	194	2,439
① 訪問	2	5	7	9	9	4	7	9	12	1	4	17	86
② 来所相談	20	14	22	23	22	17	21	26	28	17	23	14	247
③ 同行支援	6	5	5	5	3	5	6	2	2	4	9	1	53
④ 電話相談	95	80	99	99	135	102	117	129	109	119	100	103	1,287
⑤ 電子メール	0	4	0	1	1	1	0	1	0	0	3	0	11
⑥ 個別支援会議	0	3	2	3	0	2	1	5	2	1	4	2	25
⑦ 関係機関	63	67	80	66	63	44	55	72	70	59	30	57	726
⑧ その他	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	4

⑹　相談区分

（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
① 福祉サービスの利用	56	66	75	57	64	56	66	80	90	74	71	79	834
② 障害や病状の理解	6	6	18	15	12	8	3	7	5	9	4	6	99
③ 健康・医療	7	17	22	23	22	16	21	16	18	11	19	17	209
④ 不安の解消･情緒安定	84	46	58	56	73	54	52	67	53	54	39	34	670
⑤ 保育・教育・進路	2	1	6	11	18	6	8	10	6	8	4	8	88
⑥ 家族関係・人間関係	9	11	18	17	10	8	11	18	7	12	13	20	154
⑦ 年金・生活等社会保障	2	4	1	3	2	2	13	4	5	4	0	1	41
⑧ 生活技術	5	0	4	5	7	2	2	5	7	1	4	3	45
⑨ 就労	6	17	9	16	22	14	25	30	23	19	15	15	211
⑩ 社会参加・余暇活動	0	4	0	0	0	3	0	0	1	1	0	0	9
⑪ 権利擁護	1	0	1	0	0	1	3	1	2	0	0	0	9
⑫ その他	10	6	3	3	3	5	3	7	7	8	4	11	70
合　計	188	178	215	206	233	175	207	245	224	201	173	194	2,439

※重複障害についてはダブルカウントしない。

⑺　障害者支援区分認定調査（町受託事業）

障害者総合支援法第 20 条第３項に基づく厚生労働省令に定める者が、訪問調査を行い、清水町障害者支援区分認定審査会に要する資料を作成した。

（件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問調査件数	4	3	3	3	3	3	1	0	5	2	5	3	35

⑻　清水町障がい者基幹相談支援センター機能強化（町受託事業）

○基幹相談支援センター機能強化
・地域の相談支援事業者に対する専門的指導・助言
・事例検討会、個別支援会議等の開催
・地域の各種相談機関との連携強化、連携会議等の開催
・地域移行、地域定着の促進に向けた取組み　等
・地域及び圏域協議会
・専門部会の開催
・地域生活拠点部会
・相談支援連携部会
・くらし就労部会
・子ども・子育て部会

⑼　研修会・会議への参加状況

（人）

開　催　日	内　　容	会　場	参加者
令和４年４月 20 日	相談支援専門部会	清水町福祉センター	３人
４月 27 日	くらし・就労部会	清水町福祉センター	３人
５月 18 日	相談支援連携部会	清水町福祉センター	３人
６月７日	権利擁護啓発講演会	清水町福祉センター	１人
６月 13 日	現任研修	清水町福祉センター(ZOOM)	１人
６月 14 日	現任研修	清水町福祉センター(ZOOM)	１人
６月 15 日	相談支援連携部会	清水町福祉センター	３人
６月 20 日	子ども子育て部会	清水町福祉センター	２人
７月４日	権利擁護支援会議	清水町福祉センター	１人
７月 20 日	相談支援連携部会	清水町福祉センター	２人
７月 21 日	自殺対策推進連絡協議会	清水町役場	１人
７月 28 日	現任研修［演習］	清水町福祉センター(ZOOM)	１人
８月 22 日	相談支援連携部会	清水町福祉センター	３人
９月 28 日	相談支援連携部会	清水町福祉センター	１人
10 月 18 日	子ども・子育て部会	清水町福祉センター	２人
10 月 20 日	相談支援連携部会	清水町福祉センター	３人

11 月 11 日	自殺対策委員会	清水町役場	１人
11 月 17 日	相談支援連携部会	清水町福祉センター	３人
11 月 30 日	現任研修［演習］	清水町福祉センター(ZOOM)	１人
12 月２日	協議会　　運営会議	清水町役場	１人
12 月 20 日	第３回自立支援協議会［全大会］	清水町福祉センター	１人
12 月 21 日	圏域自立支援協議会	沼津総合庁舎	１人
12 月 22 日	相談支援連携部会	清水町福祉センター	２人
令和５年１月 25 日	相談支援連携部会	清水町福祉センター	３人
１月 30 日	精神障害者地域移行定着研修	沼津総合庁舎	１人
２月６日	子ども・子育て部会	清水町福祉センター	２人
２月 13 日	地域生活支援拠点専門部会	清水町福祉センター	１人
２月 22 日	相談支援連携部会	清水町福祉センター	３人
２月 28 日	相談支援専門員フォローアップ研修	清水町福祉センター(ZOOM)	４人
３月２日	第４回清水町障害者自立支援協議会（講演会）	清水町福祉センター	１人
３月 13 日	圏域自立支援協議会　相談支援部会	輝望会	１人
３月 14 日	圏域自立支援専門部会地域移行研修会	清水町福祉センター(ZOOM)	１人
３月 20 日	自殺対策推進連携連絡協議会	清水町役場	１人
３月 22 日	相談支援連携部会	清水町福祉センター	３人
３月 23 日	くらし就労部会	清水町福祉センター	２人

3　地域活動支援センター（町受託事業）

清水町内在住の障害のある方に、地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、生産活動又は創作的活動の機会や社会的居場所の提供及び社会との交流促進を図り、地域生活に必要な相談支援を適切かつ効果的に実施した。

実施については、地域及び家庭との結びつきを重視した運営を行い、関係市町、障害福祉サービス事業を行う者その他の保健医療・福祉サービスを提供する者等と連携して行った。

⑴　登録者の状況

登録者人数 26 人

ア）障害内訳　精神障害者 12 人（統合失調症：６人 双極性障害：２人 発達障害：４人）
うつ病：１人　知的障害：10 人　その他：２人(引きこもり者、自立支援医療)
身体障害１人

イ）男女内訳　男 11 人　女 15 人

ウ）年齢内訳　20 歳代９人　30 歳代４人　40 歳代６人　50 歳代２人　60 歳代１人
70 歳代４人

⑵　開所日

月曜日～金曜日（年末年始、国民の祝日は除く）

⑶　事業実施場所・時間

事業実施場所　清水町地域活動支援センター(福祉センター内)
開所時間　　10:00～15:00（休憩時間 12：00～13：00）

⑷　月別利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数（日）	20	18	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	242
実利用者数（人）	5	6	7	7	8	6	6	7	8	8	11	9	88
延利用者数（人）	36	35	65	50	64	48	46	61	64	50	61	58	638

⑸　活動支援内容

ア）園芸活動
福祉センター内の花壇の手入れ作業、家庭菜園等

イ）生活相談
障害福祉サービスの利用・就労・地域生活のニーズについて、当センターの指導員ほか相談支援事業所の相談員が対応し、家族との関わり方を含む人間関係の悩みや不安を個別に傾聴し助言した。

ウ）創作活動
絵画、ぬり絵、粘土、折り紙、スクラッチアート、季節ごと行事に合わせた創作等

エ）ウォーキング

オ）その他・・・外出活動、ボードゲーム、ピンポン卓球、調理実習、フリータイム等